

# CBS 250/350のファームウェアアップデートに関する推奨事項

## 目的

この記事の目的は、Cisco Business 250および350シリーズスイッチのファームウェアをバージョン3.1からバージョン3.2にアップデートする際の推奨事項を確認することです。

## 該当するデバイス | ソフトウェア

- CBS250 | 3.2.0.84(最新バージョンを[ダウンロード](#))
- CBS350 | 3.2.0.84(最新バージョンを[ダウンロード](#))

## 概要

デバイスのパフォーマンスと安定性を向上させるには、デバイスのファームウェアをアップデートすることが不可欠です。ファームウェアのアップデートでは、新機能の提供、セキュリティの強化、または以前のバージョンのソフトウェアで発生した脆弱性の修正が行われる可能性があります。

CBS 250/350スイッチのファームウェアをアップグレードする手順については、「[CBS 250または350シリーズスイッチのファームウェアのアップグレード](#)」の記事を参照してください。詳細については、「[Cisco Businessの新規導入：任意のデバイスでファームウェアをダウンロードおよびアップグレードする方法](#)」の記事を参照してください。

この記事では、CBS250またはCBS350のファームウェアをバージョン3.1からバージョン3.2にアップグレードする際の推奨事項について説明します。

## 目次

- [推奨される操作](#)
- [MCUバージョンの検索](#)
- [MCUの更新エラー](#)

## 推奨される操作

CBS250/CBS350スイッチのファームウェアをバージョン3.1からバージョン3.2にアップデートする際には、マイクロコントローラユニット(MCU)コードを0xEEから0xF0にアップグレードします。このプロセスには時間がかかり、このプロセス中にスイッチがオフラインになります。

- スタンドアロンスイッチの場合、オンラインに戻る前にスイッチに最初のレポート信号が送信されるまでに、最大で15分かかる場合があります。
- スイッチスタックの場合、スタック内のすべてのスイッチを更新してから再検出する必要がありますため、時間がかかります。
- ファームウェアを3.2から3.1にダウングレードすると、MCUバージョンもダウングレードされ、同じ拡張時間が必要になります。
- 再起動プロセス中は、グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)や、更新プロセスが実施されていることを示す外部からの表示は行われません。更新プロセス中にスイッチの電源を再投入するか、または他の方法でアップグレードプロセスを中断すると、スイッチが永続的な損傷を受ける可能性があり、Return Material Authorization(RMA)が必要になります。
- 更新プロセスはシステムのブートプロセス中に発生します。MCUの更新を監視するプロセスを表示する場合は、コンソールケーブルを接続し、コンソールポート経由で更新を監視する必要があります。

ファームウェアのアップグレードプロセスが完了するまでに、約15分かかることがあります。この間、スイッチはアクティビティを表示しない場合があります。アップグレードプロセスの一環として、スイッチが数回再起動することがあります。アップグレードプロセスを中断すると、スイッチに永続的な損傷が生じ、スイッチが使用できなくなる可能性があります。

## MCUバージョンの検索

これはスイッチのブートプロセスを監視することによって行われるため、サポートファイルやCommand Line Interface ( CLI ; コマンドラインインターフェイス ) コマンドでは見つからないことに注意してください。スイッチにはコンソールケーブルで接続する必要があります。

- 設定が完全にロードされる前に表示されます。
- ファームウェアバージョン3.1.1.7のMCUバージョンは0xEEです。
- ファームウェアバージョン3.2.0.xを実行している場合、MCUバージョンは0xF0です。
- ファームウェアバージョン3.2.0.xを実行していて、まだ古いMCU 0xEEが表示されている場合は、交換スイッチが必要です。

```
*****
*** Running SW Ver. 3.1.1.7 Date Aug 12 2021 Time 14:56:58 ***
*****

HW Revision is V01
Serial Number is PS [redacted] G
Base Mac address is: 10:[redacted]:[redacted]6:ce
Dram size is : 512M bytes
Flash size is: 256M
12-Aug-2021 02:58:12 %CDB-I-LOADCONFIG: Loading running configuration.
12-Aug-2021 02:58:13 %CDB-I-LOADCONFIG: Loading startup configuration.
Device configuration:
Slot 1 - CBS250-8FP-E-2G
Device 0: CPSS 98DXM333
FPGA version: 2402
MCU version: 0xEE
CPU speed: 800 MHz

-----
Unit number 1
-----
```

```
*****
*** Running SW Ver. 3.2.0.89 Date Sep 7 2022 Time 10:55:08 ***
*****

HW Revision is V01
Serial Number is PS [redacted] G
Base Mac address is: 10:[redacted]:[redacted]5:ce
Dram size is : 512M bytes
Flash size is: 256M
07-Sep-2022 10:55:17 %CDB-I-LOADCONFIG: Loading running configuration.
07-Sep-2022 10:55:18 %CDB-I-LOADCONFIG: Loading startup configuration.
Device configuration:
Slot 1 - CBS250-8FP-E-2G
Device 0: CPSS 98DXM333
FPGA version: 2402
MCU version: 0xF0
CPU speed: 800 MHz

-----
Unit number 1
-----
```

## MCUの更新エラー

失敗した更新の動作は異なる場合があります。更新が中断された場所と方法によって異なります。

- スイッチが単にリブートのループに入る場合があります。
- PoEが機能しなくなり、*Show Power Inline*コマンドをチェックすると、TIチップセットの表示が停止し、すべてのポートでポートのステータスがオフと表示される場合があります。
- スイッチのパフォーマンスと動作は信頼性に欠けます。
- コンソールケーブルを介してブートプロセスを監視することで特定できます。
- スイッチのファームウェアを最近更新してスイッチの障害が発生した場合は、ファームウェアとMCUのバージョンが正しいことを確認します。これらが一致しない場合のソリューションはRMAです。
- この問題は現場で対処できるものではなく、RMAが必要です。

## 結論

これで、CBS250またはCBS350スイッチをバージョン3.1からバージョン3.2に更新するための推奨事項について、すべて理解できました。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。